

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度国際ロータリーテーマ

2020～2021年度クラブ目標

『35年目の再構築 ロータリーの源流へ』

会長 吉野 敬之
幹事 堀田 一彦

創立 1986年



第1669回例会

令和3年6月10日 (18:30～19:30)

○ソング

- 四つのテスト

○ビジター

- 県南分区ガバナー補佐 遠藤武士様

○スマイルBOX

- 県南分区ガバナー補佐 遠藤武士様 (任務が終了に近づきました。御協力ありがとうございました。IMセミナーにおいては大変お世話になりました。)

- 吉野敬之会長 (遠藤ガバナー補佐一年間お世話になりました。本日回顧を発表していただいた皆様一年間大変お世話になり有難うございました。)

- 堀田一彦幹事 (遠藤ガバナー補佐ようこそ！五大部門、愛好会の委員長の皆様1年間ありがとうございました。)

- 金田昇会員 (遠藤ガバナー補佐様1年間おつかれ様でした。石川さんロータリーを有意義に楽しんで下さい。)

- 宮本多可夫会員 (遠藤武士様、ようこそ。IM本当に御苦勞様でした。)

- 居川孝男会員 (白河西RC35周年記念事業の最後のイベントが6月20日にあります。是非会員のご協力をお願い申し上げます。皆で盛り上がりましょう！)

- 山口治会員 (先週、誕生祝いの品頂きありがとうございました。家族でおいしくいただきました。今年度あまりスマイルしてなかったので、まとめた金額でスマイルします。)

- 藤田和克会員 (先日のゴルフコンペで優勝させて頂きましたのでスマイルします。大きなハンデをありがとうございました。)

- 青木大会員 (先日はRCのコンペおつかれ様でした。大人数が集まったのも吉野・堀田年度の人気の高さのたまものだと思います。バーディも1つ取れました。ありがとうございました。)

- 永野文雄会員 (遠藤ガバナー補佐、1年間おつかれ様でした。石川格子会員、正式入会おめでとうございます。本日発表の皆様ご苦勞様でした。)

▶第1669回例会出席状況 (R3年6月10日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	50名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	64名
Ⓒ ①の出席者数	30名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	3名
Ⓔ ②の出席者数	7名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	40名
Ⓕ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	57
Ⓖ = ⑥ / ⑦ × 100 (例会出席率)	70.2%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

吉野敬之会長



皆さん、こんばんは。非常に暑い中、今日も沢山のメンバーの方にお集まりご出席いただきまして誠にありがとうございます。まず初めに、今日はおお客様をご紹介させていただきたいと思います。もうお馴染みでしょう。遠藤ガバナー補佐でございます。遠藤ガバナー補佐には後程、一言ご挨拶を頂戴したいと思いますので。遠藤ガバナー補佐は多分今年度、ガバナー公式訪問を含めると5回目の来白ということになるかと思えます。5回目の来白ということは、非常に今までのガバナー補佐の方と比べると、お越しいただいた回数が多いかと思うんですが、これはガバナーのほうから年に4回ほどは各クラブに訪問に行くようにというような指示が出ているそうでございます。私もあまり優等生ではないので、常々来てるわけではないんですが、これほどきっちり4回ガバナーの指示通りにいらっしゃったガバナー補佐は多分吉成ガバナー補佐以来じゃないかと思うんですが。多分、吉成清ちゃんは行ったと思います。それぐらい本当にご自分のお仕事、それとご自分のクラブ、更には県南の7クラブのほうに4回こういうふうにいらっしゃるといのは非常に激務だと思います。本当にご苦労様でございました。来年は、その任をうちの金田ガバナー補佐エレクトがしっかりと受け継いでくれるのかなというふうに思っておりますので、また補佐等をいろいろ教えていただければと思いますので、よろしく願いいたします。そういうわけで、ガバナー補佐の巡回も今日で最後というふうになりました。先日、土曜日には2800地区の地区大会が無事終了いたしました。ご存じのように、わたくし共の姉妹クラブであります米沢中央ロータリークラブが輩出されております齋藤ガバナーが主催をしまして、主幹が米沢中央ロータリークラブということで、残念ながら延期等を繰り返しながら、最終的にはユーチューブの生配信ということで先日の土曜日無事行われました。ご覧いただいた方も多かと思うんですが、本当にぎりぎりのタイミングまでこの開催日をずらしてくるというのは本当に大変だったろうなというふうに、主幹された米沢の方達のご苦労に思いをはせるというような形でございますが、先週の土曜日、無事終了いたしました。日曜日には、当クラブのゴルフ愛好会の最後のコンペがございました。今回、藤田さんが無事優勝されまして、おめでとうでございます。多分、一緒に回った方に恵まれたのかなと思うんですけども、ちなみに私とは一緒じゃなかったですね。私は横田さんと水上君と鈴木エレクトと4人で回りましたが、みんな別な意味のハイスコアを出させていただきました。そういうわけで、今年度予定されたことが徐々に日にちを変えながらも最後に向かって進んでいると。例会もですね、今日を入れまして残り3回ということで、この会長の時間も残り3回ということになります。着任当初といいますか、去年の7月初めの頃にお話をさせていただいたとおり、この会長の時間というのは歴代のパスト会長の方も皆さん仰っているんですが何を話すか悩むと。非常に考えて大変だというようなお話を聞いてましたが、もれなく私も大変ですというようなお話をさせていただきます。一年経ちまして、少しは成長したかなと思うんですが、実際まだ未だに何を

話すかは考えるのも大変ですし、こう見えても皆さんの前でお話する時にはいつも緊張しているわけでございます。そういうふうには、少しは会長の時間も終わりに近づくと惜別の情でも湧くかなというふうに思っておりましたが、どちらかというともうあと3回しか喋れないんだなという淋しさより、あと3回で終わるんだなというどことなく安堵感のほうが強いなというふうに今思っております。これはもしかしたら、最終本当に終わった時にはもう俺話す機会がないんだなんて思って、惜別の情といいますか淋しさが込み上げてくるのかなというふうには思うんですが、正直今はそれ程ではございません。この人前で話す時に緊張するというのは前にある人から聞いたんですが、人前で上手に話そう、良い事を話そうというふうには自分自身でハードルを上げるから人前で話す時の内容も何を話すか悩むし、人前に出て話す時に緊張するんだというような話を聞いたことがあります。確かに、やっぱり人前で話し、まして会長というふうな職を預けられて、皆さんの前でお話する時は、ちょっとは賢く見られたいとかですね、ちょっとはこの人良い人だなと思われたいなというようなことを考える功名心というものこれはあるでしょうし、皆さんお持ちだと思えますね。だから、そういった中でお話をすると緊張したりするんだなというふうに思いますが、この一年間いろいろお話をさせていただいて、いろいろ何を話そうかなというのを考えたりしながら話をするわけですが、きちんと考えてきた時というのは皆さんにとってそれは良い話だったかとか、よくできたねという話だかどうかは別としまして、本人的にはちゃんときちんと話できたなというふうなことが多いです。ただ時々、話をしている最中に迷子になりまして、何を話そうとしたんだか最後にどこに行き着こうとしたんだか出口が見えなくなる時があるんですね。その中で、やっぱり今日は何を話そう、こういうふうには話そう、こんな事をきちんと話そう、順番こうしようみたいなことを考えてこの時間に臨ませていただくと、比較的迷子になりずらいかなというふうに思えます。大丈夫大丈夫だなんていうふうな気持ちでお話を始めると、迷子になりやすいというふうなことを一年間で学びました。ですから多分、備えあれば憂いなしとか、段取り八分とか、いかに事前の準備が大事かというようなことは、古今東西昔からいろいろ言われて私も死ぬほど聞いているんですけども、やっぱりお話し一つにしてもそういう事はきっちりやって準備を整えてからじゃないと、最終的に自分が恥ずかしい思いをするし、ましてやここに集まっている皆さん方の5分間なり、もうちょっと喋っていますかね。5分程度を人それぞれここに集まっている方達時給高いので、その高い時給の5分間をいかに使うかというのは結構重要な問題だと思っていますので、そこできちんとしたお話ができるかどうか、それはやっぱりきちんと準備をして来ることが大事なんだなというふうなことも気付かせていただいた一年でございました。来週再来週とこのような回顧的なお話が増えるかと思いますが、総括してお話をさせていただきます。今日は、もと五大委員会というふうに言われていた委員会を中心に、先週お話ができなかった委員長さん達の一年回顧を聞かせていただく楽しいプログラムでございますので、皆さんから批判をお受けすることもあるかと思えますけれども、甘んじて受けますので率直な感想をいろいろとお聞きできればと思いますので、楽しみにしております。よろしく願いいたします。

■お客様のご紹介

○2020-2021年度県南分区ガバナー補佐 遠藤武士様



皆さん、おばんです。今、会長さんのお話聞いてて随分この私に対しての配慮というんですか、10分近く話してくれたおかげで夕飯全部食べました。ありがとうございました。私も38年在籍しております。今、会長さんが言ったようにこのポジションで5回ですか、あつという間の一年だかもしれませんが、次年度の金田さんもうスタートしてると。私はスタートが去年の7月の半ばからだったんです。ちょっと体調を崩しまして、ちょっと全うできるかなと、そういうふうな具合の出発点だったもんですから、おかげさまで何とか体力は回復しつつあるというふうな感じでございます。また、私もIMのセミナーで申し上げましたけども、15分ほど話させていただきました。その中身は、私ユーチューブが全然できないんです、わかんないです。それで専門の方をお願いして、そしてユーチューブを各クラブに配信しました。しかし、いろんな手違いなんでしょうか、先程石川ロータリーさんに挨拶に行ったら、やはり聞かれなかった。その前の日、須賀川と須賀川ぼたんさんにも行ったら、そのとおりだったと。やはり、私も皆さんにお任せしたもんですから、全然わかんないと。しかし、次年度もこのくらいのユーチューブで利用するのかなと。そうした場合、金田さんがガバナー補佐をされますので、私みたいなミスをしないなど。そういうふうな安心感で金田さんに期待しております。本当に皆さん、今のこういうふうな中で出席していただきまして、私も一安心しました。私としてもこういうふうなことをするつもりでありませんでしたけども、やはりこういうふうなことを私の年齢でできるということは、ある一面もう少しいろんな意味で社会奉仕しろというような感じなのかなと、そういうふうな私なりに感じております。やはり、皆さんご承知のようにこのクラブというのは米山梅吉さんが言われた普通の原理ですね。不易流行という。これに基づいてしないと、ちょっといろんな意味で難しい。また、日常の活動においてもそういうことが出てくるような感じをしました。今回、IMのセミナーで東京の大江さんに話を聞きましたけども、あの中で私一番心配してるのは中国の三峡ダムですね。三峡ダムが158パーセントの状態になっていると。ということは、いつダムが崩壊してもいいんだと、そういう状態ですね。これを皆さんの前では言葉を濁した話をしたもんですから、おわかりにならなかったと思うんですけども、皆さんご承知なのは一昨年の秋に規制線の8割5分強きたというふうな警告が発せられました。それから、いろんな報道は全部ありませんけども、大江さんはそういうふうなことを情報をキャッチして皆さんの前で話したんですけども、そういうふうなことでこれからどういうふうな世の中的情勢になるかわかりませんが、私としては今回の講演において大江さんの考えというのは大変貴重な考え、話をされたなという感じをしていました。そういうふうなことが、今回私としては皆さんに聞いていただいて良かったなというふうな感じをしてしております。私もこういうポジションになるといっていいので、これから次年度の金田さんにいろんな意味でご協力できるところは協力していきたいと思っております。一年間、お世話になりました。

■幹事報告

堀田一彦幹事

- 白河赤十字奉仕団 委員長 安澤荘一：赤十字奉仕団への賛助について（依頼）
- 国際ロータリー第2530地区 ガバナーエレクト 志賀利彦、次期地区研修リーダー 志賀裕、次期地区幹事 蛭田修二：2021-22年度事務担当者セミナー開催について
- 国際ロータリー第2530地区 ガバナーエレクト 志賀利彦、次期地区研修 リーダー志賀裕、次期地区幹事 蛭田修二：2021-22年度前期地区委員会総会開催について
- 国際ロータリーデータサービス部：2021年7月クラブ請求書の作成にあたってのお願い
- 白河市長 鈴木和夫：街頭献血キャンペーンへの協力と記念品等の協賛について（依頼）

■本日のプログラム

一年回顧 五大部門

○会長エレクト

鈴木孝幸会員



皆さん、こんばんは。会長エレクトの一年回顧をいたします。今年度の会長エレクト職は、例年であれば会長エレクトとそのまた次の高島君の立場は、クラブ奉仕Ⅰそしてクラブ奉仕Ⅱという委員会の担当委員会委員長として回顧をおこなってる形なんですけど、今年の会長エレクトと高島君についても、委員会が付いていない丸腰の状態なので、会長エレクトという形での回顧をさせていただきたいと思っております。担当委員会がなかったということもありまして、今年是一年間、次年度の会長準備に専念できる一年だったのかなと思っております。ネット上でマイロータリーに接続して、ラーニングセンターというものを今年真剣に受けさせてもらいました。初めてだったんですけど、受けさせてもらって勉強したら、時間もかかりますけども。あとは、PETSですね。PETSも出席させていただいて、全部ネット上、そしてユーチューブでの会議でしたが。あとは、RLIも一回やりました。6月20日には、RLIの二回目がありまして、残念ながら35周年の中村文昭さんの周年事業と沿道のごみ拾いですが、そちらには私と須藤さんは参加できないんですけど、そちらに参加する予定です。あとは地区協議会ですね。こういうのも参加して、本当に自分のロータリーに対する無知さと、あとはロータリーの良さを再認識して、本当に素晴らしい組織なんだと思ひ起こした一年でありました。思い起こしますと、このコロナ禍、中目直前会長の時点で既に重篤な状況になっていまして、3月から2か月間の休会があった、その後誰もこの時期まで引きずるとは思ってなかったと思っております。吉野会長はこの一年間、ズームを使ったハイブリット例会というものを確立させて、皆様の出席率も落ちずに、前回2回休会になりましたが素晴らしいタフさで一年間乗り切って、西ロータリーの組織の活動を維持、そして尚且つ35周年を精力的に活動して、従来健全な時と変わらない、それ以上の活動を続けてくれたなと思っております。今はもう、私の親も会社もコロナワクチン2回目を接種しまして、もう出口が見えてきたななんていう感じですが、この後もせっかくこういうようなITを使ったズーム例会というものが軌道に乗っているということから、それを益々発達させていろいろなビジュアルを対応した自宅でもコロナ禍のこともこの先も正直いってまだ見えませんが、自宅でも楽しい例会に参加できるようなシステム

作りを一年間かけて行っていきいかなんては思っています。回顧というより来年の話になっちゃって脱線しましたが、申し訳ありません。とりあえず、今年は本当に素晴らしい一年間を吉野会長、そして堀田幹事に見せていただきました。来年も、そのタフさを真似て今年以上とはいかないですが、例年並みに例会が継続できるように頑張りたいと思っています。そういった事を誓いまして、会長エレクトの一年回顧といたします。

○社会奉仕委員会

藤田龍文委員長



皆さん、こんばんは。遠藤ガバナー補佐、どうもようこそいらっしゃいましてありがとうございます。本年度、社会奉仕委員会の委員長を担当しました藤田です。副委員長には、緑川直人君。委員には、仁平喜代治さん、松永紀男君の4名で構成をいただき、この一年間の任務をいただきました。毎回、先週もそうでしたが、枕詞のように今年はどうしてもコロナ禍の影響は避けられず、本当は大変お世話になった吉野会長の周年事業ということで、もう仕事もほっぽり投げて全力で尽くそうと心に誓ってたわけですが、大変残念ながらもなかなかそういう訳にはいかず、本年度は与えられた担当例会。つい最近だったんですが、小針永子さんをお迎えしての担当例会のみということになってしまいました。どうしようもないというご時世だと思いましたが、こういった部分をこのコロナ禍が明けましたらまた全力でお返しして、ロータリーの場合はずっと会員で皆さんいらっしゃいますので、吉野年度にもまたこれが終わってもどんどん尽くして、より良い会の運営にお手伝いしようと思えます。

○職業奉仕委員会

阿部克弘委員長



皆さん、おばんでございます。本年度の職業奉仕委員会は、副委員長に安部和夫パスト会長、委員に鈴木信教会員、上杉謙太郎会員と私、阿部の4名で一年間行ってまいりました。委員会としては、活動計画の令和3年1月の職業奉仕月間に第2530地区の職業奉仕委員会の委員長の初瀬委員長をお招きしまして、1月14日の例会で卓話をお願いしておりましたが、白河市で発生した新型コロナウイルスのクラスターにより、1月7日の吉野会長の年頭卓話が中止になり翌週の1月14日に変更になったため、初瀬委員長の卓話が延期となりました。その後、ロータリークラブの活動にも制限が出るようになり、結局卓話ができませんでした。また、活動計画の二つ目の会員の職場訪問も新型コロナウイルスの影響で実現ができませんでした。ただ、第2530地区の職業奉仕委員会には「郡山ユラックス熱海」で令和2年9月26日に開催されたセミナーやズーム会議を含めて2回委員会に参加できたことが救いでしたが、一年を通して思うような活動ができなかったことは心残りになりました。最後に、吉野会長や堀田幹事や委員会のメンバー、並びに西クラブのメンバーの皆様には大変お世話になりありがとうございました。一年の回顧とさせていただきますが、その他に米山記念奨学生のチョウ・ナンダ・トゥンさんのカウンセラーを昨年の5月14日から担当しまして、おかげさまで3月に無事終了することができ、今トゥンさんは埼玉の「ホンダカーズ埼玉」で一生懸命仕事をされております。テレビ電話でも何度か近況報告聞いて

ておりますが、本当に頑張ってやっているようなので、皆様にくれぐれもよろしくお伝えくださいということでしたので、一言申し添えます。一年間、ありがとうございました。

○国際奉仕委員会

青木大委員長



国際奉仕委員長を務めました青木です。一年間、お世話になりました。年度の始めに掲げた目標は、ロータリーの国際奉仕に貢献をするということで掲げさせていただきましたが、年度が始まる前からコロナ禍ということになかなか国際奉仕、海外に出て奉仕をしていくのはちょっと難しいんじゃないのかなという思いの中スタートさせていただきました。ただ、そうはいっても何かできることはあるんじゃないのかということを探しながらスタートをしました。そして先程、阿部委員長のほうからありました奨学生、チョウ・ナンダさんのミャンマーのほうにも何か貢献をしたいということで、事業を行っていきいたいという形でスタートしました。それで、チョウ・ナンダさんの地元でいろいろな形で苦労している。貧困という部分においては、やはり発展途上国では大きな問題であって、少しでもそこに貢献ができればということで、今年度は35周年の記念事業としてミャンマーにランドセルを送ろうということで企画をさせていただきました。年末くらいから事業の骨格ができて、ミャンマーの状況を例会のズームを通して、チョウ・ナンダさんからミャンマーの報告を貰ったりとかしながら準備を進めて、年明けの2月くらいからランドセルの募集を開始をしました。スタートして3月の中学校の卒業式とか、高校の卒業式等に合わせて募集のチラシを入れたり、新聞の記事に取り上げていただいたりして、目標400個のランドセルを集めることを掲げてスタートしたんですが、事業報告のほうには400個集まりました、お世話になりましたというふうに書かせていただいたんですけど、現状としましては今240個程ということで、あと160個程募集をしております。ただ、ミャンマーにランドセルを送ろうというのを掲げると、今年の4月から軍事クーデターが起こって、度々テレビのニュースとかで皆さんも知るところとなっていると思うんですけども、こんな時にランドセル送れるんですかという問い合わせがあったりとかするので、時機を見て届けますというような返事をしてるところで、あんまり強くランドセルをミャンマーに送るので持ってきてくださいとなかなか言いづらい環境になっているというのが今現状としてあります。ただ、多分来年もちょっと難しいとは思いますが、その集めたランドセルを少しでも発展途上国の地域の子供たちに寄与できるような、ミャンマーも含めていろいろな選択肢を持ちながら進めていきたいと思っております。ただ、本年度に関しては400個のランドセルを集めるというのは、時期をずらすとなかなか集まりづらい部分がありますので、これは来年の鈴木年度の時に残りの160個プラスアルファを集めたいと思っておりますので、その時にはまたお手伝いをいただきたいというふうに思っております。国際奉仕委員会としては、その35周年のランドセルを集めるという部分に関して、今年度活動を行ってまいりました。道半ばではありますが、本年度の活動はこのぐらいとさせていただいて、来年度に続けていきたいと思えます。どうぞ来年もご協力をよろしくお願いいたします。

○青少年奉仕委員会 吉田充委員長(代読：堀田一彦幹事)



皆さん、こんばんは。吉田委員長が本日所用のため、欠席ということなので代読をさせていただきます。青少年奉仕委員会、委員長、吉田充。本年度も、昨年同様新型コロナウイルスに翻弄された一年となり、計画どおりには進むことはできませんでした。そんな中、何とか青少年の子供たちに届けたいことを実現するために、吉野会長、堀田幹事、居川35周年実行委員長、成井副実行委員長、青木事務局長、村上前年度青少年奉仕委員会委員長、それから我々が委員会の島田副委員長、大竹会員、ご参加いただいた会員の皆様方には特にお世話になりました。感謝申し上げます。CKB(チャレンジ県南ベースボール大会)は神奈川県逗子開成中学校などの参加校がコロナ禍の中で参加を見合わせたことにより、急遽GKB(ゴーゴー県南ベースボール大会)に変更して、8月28日29日の両日で開催することとなりました。青木先生をはじめ、実行委員会の先生方、大会関係者の方々、クラブ会員の皆様のご尽力により何とか無事に開催できました。1月11日に予定していた青少年の健康教育に関わる事業、市内清掃活動及び中村文昭氏講演会は、1月3日白河市で発生したクラスターにより延期を余儀なくされました。今月6月20日、リベンジです。会員の皆様、お忙しいとは思いますがご参加ください。白河に子供たちの未来は、我々大人がチャンスを作ってあげることでいろんな事に気付きがあると思います。まだ、事業が終わってはおりませんが一年回顧といたします。

○親睦委員会 櫻岡敏之委員長(代読：堀田一彦幹事)

親睦委員会、櫻岡敏之。本年度は、コロナ禍の影響もあり当初計画しておりましたプログラムを大きく変更せざるを得ない一年となりました。実施できました納涼例会やクリスマス例会では、飛沫防止や三密の回避などの対策を実施。2回のホームミーティングでは、初めてのオンラインでの開催(2回目の1班のみ)など、それぞれ設営の見直しを余儀なくされた一年でした。誕生日、結婚記念日のお祝いは例年どおり実施することができました。このような状況下にも関わらず、ご理解とご協力をいただきました、会長、幹事、そして会員の皆様には心より感謝申し上げます。一年間、ありがとうございました。

○ビジョン推進・研修委員会 宮本多可夫委員長



今年度のビジョン推進・研修委員会の委員長を仰せつかりました宮本でございます。一年間の回顧ということですが、この委員会は非常に白河西ロータリークラブの基礎、礎を築き上げて、更にそれを土台にしてどのように発展していくかというビジョンを策定するという大きな目標が付与されているわけですが、そのビジョン作成にあたっては、いわゆる上からこのようにしようということではなくて、ボトムアップといいますが、一人一人がそれぞれ自分が持っているイメージを話し合っ、それを築き上げて作っていくというようなことを、一つの大きなテーマとして私は考えてきました。そういう中で、ホームミーティング等々において我がクラブの在り方を含めて議論、テーマを作っていただきたいというようなことも考えていたんですが、ただ、今年度はそういう意味

では十分そこを意識した形ではできなかったことは反省しなきゃならないとは思っております。コロナというところで、なかなか思いどおりなところができないというのは、うちのほうの委員会も同様でございました。しかしながら、吉野会長の奮闘努力の結果、35周年記念事業をする中で、我がクラブは今年度的に言えばその記念事業を実行する中で大きな意味で一つになれた。出席も多数出席になりましたし、そういう意味でビジョン委員会としては、一つの目標が会長の努力によって成していただいたというようなことを考えております。このような土台を作るといいますか、組織的な法律的な規則とかなんかで、形式的な事ではなくて精神的な意味で、あるいは哲学といえますか、それぞれの考えの中で基礎を作っていくということは、この西クラブ発展のためにはどうしても必要だろうと思いますし、これは単年度で成しえるものではなくて、毎年毎年少しづつというようなことを考えながらやっていかなきゃならないというふうに思っております。最後にバランス的な、今年度の35周年に関する事業なんかを考えても、少年に対する事業、あるいは国際的な問題についても意識的にしていますし、親睦もある程度出来ているということの中で、100点満点にはいきませんがそれぞれある程度共通のビジョンを描きながら進んでいるかなというようなことで考えております。次年度も委員長を仰せつかる中で、更にお互い共通項といえますか。自分は白河西ロータリークラブに属するということに対して、それぞれプライドと誇りを持って同じ共通目標を持って進んでいけるというような体制を陰ながら作っていきたいというようなことを考えながら、今年度途中道半ばの委員会かもしれませんけども、一年間の回顧というふうにしたいと思っております。

○SAA

運天直人委員長



本年度、SAAの大役を務めさせていただきました。副SAAに、前原パスト会長。そして、鶴丸会員、須藤会員、佐川会員ということで、私を含めて5人でSAAを担当させていただきました。通常であれば、パスト会長という経験が豊富な先輩方が務めるSAAですけども、今回は私が務めさせていただくということで、ちょっとどうなのかなという不安があったんですが、年度当初にクラブ協議会で石黒ガバナーのほうから、BGMとかあと食事とかという面で自分らしさを出していけばいいんだよという言葉をいただいて、一年通してやってまいりました。メニュー作りに関しましては、何回か指摘もありましたのでホテル側といろいろと打ち合わせをさせていただきながら取り組んでまいりましたが、会場のBGMとか会場の雰囲気作りとかいう部分に関しては、コロナの影響もあってなかなか上手くいかないと、多少反省が多い一年だったかと思えます。また、時間配分が非常に難しく、司会をやってもなかなかできずに、吉野会長に何度となく助けていただいたということで、本当に感謝申し上げます。会場設営という部分だけではなくて、すべてを円滑に回すことがそのSAAにとっては必要なことだったので、今回学ばせていただきましたので、この経験をまた今後も生かしてまいりたいと思っております。最後に、一年間支えていただきましたSAAの委員の皆様、本当にありがとうございました。

○ゴルフ愛好会

運天直人会長

ゴルフ愛好会の回顧ということで、本年度コロナの影響もありましてゴルフはちょっと難しいのかなと思っておりました。しかし、逆に屋外ということもあって例年になく参加者が多かった一年になったかなと思います。先程、会長からもありましたけど、先日の第4回のコンペには22名の参加をいただきまして、会員の皆様からは例会と変わりにいくらの参加を今ゴルフもしていただけるんだねということでお褒めの言葉を頂戴いたしました。ただ、周年コンペとか、あと米沢さんとの交流コンペなど、大々的にできなかった部分もあったものですから、そこは反省点かなと思います。ただ、来年以降もまたゴルフ愛好会に携わるお役を頂戴していますので、皆さんが楽しくまた一年ゴルフに愛好会に邁進できるよう努めてまいりますので、よろしく願いいたします。

○野球愛好会

吉野敬之会長



小林監督が今日所用で外しておりますので、私のほうから報告しろという話だったのですが、野球愛好会は昨年来続いておりますコロナの影響で練習もゼロ。対外試合もゼロ。飲み会が2回。若干、クーデターになりかけた総会が1回というような活動しかいたしておりません。また、コロナが明けて本来ですともう5月の連休明けから練習しようという話だったんですが、緊急事態宣言延長になりまして、それもちょっと練習できずということですが、7月からは練習に励んで、また皆さんの前に雄姿をお見せしたいなというふうに思っております。一年間、ありがとうございました。

○歴史文化研究愛好会

関谷亮一会長



歴史文化研究愛好会ですが、先月の20日にプログラムの中に組み入れていただいたんですが、残念ながらクラブが休会ということになってしまいました、この事業ができませんでした。残念でございますが。今年のメンバーは、わたくしと成井さんと宮本先生と3人なんですが、来年も同じメンバーということで。来年は例会数が通常より2回少ないわけですね。その中に、来年度も組み入れて何か卓話をというふうな話をしたんですが、大変ご好意をいただいて一回ほど取れるというふうなお話も聞きましたので、ありがとうございました。今年はそんなことで例会に藤田記念館の移築に伴う白河市の学芸員の先生に来ていただいて、歴史と文化についての卓話をいただくかなと、そんなふうに思っておりました。残念でしたが来年度にしたいなと、そんなふうに思います。できればこの歴史文化研究愛好会は、この白河を出てアフターコロナになった時点で、歴史の探訪をいろいろとその歴史に詳しいところを見学できたらなとそんなことも思っておりますが、とりあえずは卓話程度で済ませたい、そんなふうに思っております。

○スキー愛好会

佐藤幸彦会長



皆さん、こんばんは。スキー愛好会よりご報告を申し上げます。恒例行事となる予定だった第12回目を迎える蔵王温泉スキー場の交流会は、コロナのために中止になってしまいました。吉野会長も本来であれば、何十年かぶりの参加予定だったんですが、非常に残念でございました。交流会は中止になってしまったんですが、我がクラブのスキー愛好会事業としてめげずに単独事業で行ってまいりました。期日は2月6日、7日。我がクラブの参加者は、金田昇パスト会長、鈴木孝幸会員、青木大会員と奥様、長女、次男とわたくしという形で行ってまいりました。当日、天童ロータリークラブ、天童商工会議所の会頭をやっております野川さん。また同じ天童ロータリーの大場さん、小野さんとかも駆けつけていただきまして、一緒に滑ることができました。例年より樹氷ができるのが雪が多かったせいでできるのが早かったんですが、頂上の地蔵様等を見ることができましたが、二日目は濃霧で視界が20メートルくらいしかなかったかなと思うんですが、ほとんど滑ることができず帰ってきました。怪我もなく楽しく滑ることができ、良い温泉を楽しみ皆で美味しいお酒を飲んで楽しんでまいりました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

○副会長

高島裕副会長



皆さん、こんばんは。副会長を仰せつかりました高島でございます。吉野会長、堀田幹事、一年間大変お疲れ様でした。今日を入れて3回だと思うと、食事もう喉を通らないような状況であります。わたくしが副会長として一年間コロナ禍という年度ではありましたが、逆に吉野会長の素晴らしさが目立った年だったのかなというふうに思っております。会長の掲げるクラブの目標どおり再構築がされるような、コロナ禍でありながらも形を変えてズーム例会だったり、周年事業であったり、素晴らしい数々の思い出が作れたのかなと思います。まさに、ロータリーの歯車のような形がしっかり形成された良い勉強になる年だったと思います。私も中目年度くらいから出席回数は意識的に上げて、吉野会長の時には休んだの1回くらいかなと思っておりますが、極力自分で勉強するために参加させていただいて、どの委員会がどのような活躍をされ、会長としてどういう形で行くのか。幹事さんはどういうふうなスタンスで進んでいくのかと、いろいろと勉強させてもらった一年でありました。次年度、まもなく鈴木・須藤年度になるわけですが、吉野会長まだまだ今月いっぱい会長であります。私の気持ちはもう孝幸年度のほうに移ってますが。やはり長いものに巻かれるタイプで、同じタカユキということで、副会長として何ができたかというよりは、会の2年後のために勉強させていただいたというような年度にさせていただきました。吉野会長、そして堀田年度の素晴らしいところを取り入れて、鈴木孝幸年度、須藤正樹幹事のもと、更に勉強させていただいて自分の年にそれを発揮できるように頑張っていきたいなと思っております。本当に一年間、皆様にはお世話になりました。ありがとうございました。